

宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略
にかかると事業評価報告書
(平成28年度事業)

平成29年9月
宇治市

宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

1. 基本的な考え方

(1) 総合戦略の目的

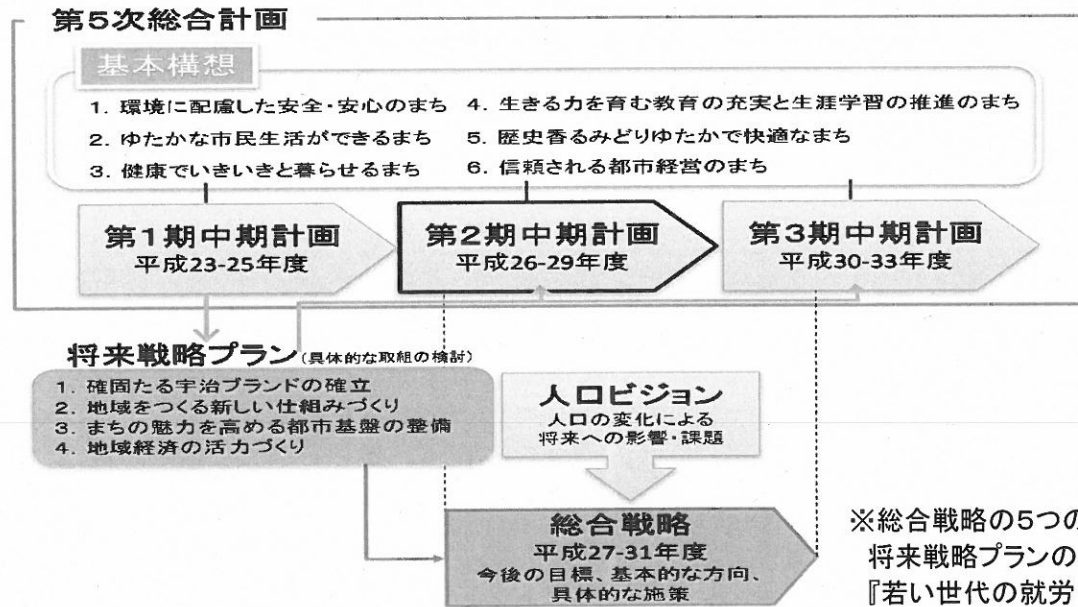
人口減少及び少子高齢社会への迅速かつ的確な対応と、本市の特色を活かした施策の実施により、持続的に発展するまちを目指すことを目的とする。

(2) 総合戦略の位置付け

本市では、宇治市第5次総合計画(計画期間平成23～33年度)において「みどりゆたかな住みたい、住んでよかった都市」を目指す都市像とし、お茶と歴史・文化の香るふるさと宇治をまちづくりの目標とする。この基本的な考え方は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的考え方等と合致している。

また、平成25年度に策定した宇治市将来戦略プランでは、宇治市第5次総合計画第1期中期計画を受けて、宇治を持続的に発展する都市とするため、産業や観光などの幅広い分野において時代の変化に対応し、『宇治』の魅力を向上させるための具体的な取組を検討した。

本総合戦略では、既に表示されている宇治市第5次総合計画・宇治市将来戦略プランを踏まえたうえで、人口ビジョンにおいて示した人口の変化による将来への影響、課題を勘案しつつ、人口減少に歯止めをかけ、持続的に発展するまちを目指した今後の目標、基本的な方向、具体的な施策を示すものである。



※総合戦略の5つの基本目標
将来戦略プランの4つの方針に
『若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり』を追加

2. 事業評価

各基本目標における数値目標や具体的な施策における重要業績評価指標(KPI)の達成度により、取組の効果を毎年検証し、国の動向や社会経済情勢の変化などに対応した施策の見直しを図るなど、PDCAサイクルにより、総合戦略の実現性を高める。

また、効果検証に際しては、庁内で評価を行うとともに、その妥当性・客観性を確保するため、市民及び産学官金労言等の有識者で構成される「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」で検証を行う。

※PDCAサイクル:Plan(計画)、Do(実施)、Check(評価)、Action(改善)の4つの視点をプロセスの中に取り組み、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法。

3. 評価の対象事業

宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の5つの基本目標に掲げる事業のうち、平成28年度に実施した事業(地方創生推進交付金及び加速化交付金対象事業を含む)について評価を行った。

なお、同交付金は、国において事業効果を高めるため、外部有識者による効果検証を求められている。

4. 総合戦略の見直し

本市では、人口減少に歯止めをかけるため、平成28年度において総合戦略に掲げる基本目標に基づき、観光施策や子育て支援施策、産業振興施策をはじめ各種事業を実施した。その結果、人口減少幅は改善しているものの、人口は依然として減少している。そのような中、平成28年度に実施した転出入者アンケート調査では、仕事の都合が転出入のきっかけ・理由となっているとともに、子育て支援サービスの充実が市民の満足度を高めることにつながると推測される結果であったことから、これまでの5つの基本目標に沿った具体的施策の方向性は、人口減少の歯止めに向けた取組として適切なものと考えられる。

したがって、現時点では5つの基本目標に沿って、具体的施策に応じた事業を充実しながら取組を推進することとし、総合戦略の具体的施策の見直しは実施せず、今回目標を達成したKPIについては目標値の修正を行ったうえで、効果検証をしながら、今後、必要に応じて見直しを行うものとする。

目次

基本目標	具体的施策	頁
(1)『確固たる宇治ブランドの確立』	①魅力発信プラットフォーム運営等事業	2
	②観光振興事業	4
	③観光インバウンド推進事業	6
	④宇治茶活用事業	8
	⑤宇治茶ブランド化事業	10
	⑥源氏物語のまちづくり等事業	12
	⑦宇治の魅力の深化事業	14
(2)『市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生』	①市民参画・協働によるふるさと宇治創生事業	18
	②宇治への愛着醸成事業	20
	③誰もが生き生きと暮らせる宇治づくり推進事業	22
	④多世代交流促進事業	25
(3)『まちの魅力を高める都市基盤の整備』	①まち巡りを仕掛ける基盤づくり	28
	②交通環境等充実事業	30
	③公共施設アセットマネジメントの導入	32
	④地域コミュニティの活性化	33
(4)『地域経済の活力づくり』	①産業活性化事業	36
	②雇用促進事業	38
(5)『若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり』	①若い世代の就労支援事業	42
	②結婚・出産支援事業	44
	③子育て支援環境充実事業	46
	④学習環境等充実事業	50
	⑤保幼小中の連携教育推進事業	54
	⑥地域等協働子育て環境充実事業	56
国の地方創生関連交付金を活用した事業結果	1. 地方創生加速化交付金(平成27年度)	58
	2. 地方創生推進交付金(平成28年度)	61
重要業績評価指標(KPI)目標値修正一覧		62
人口動向分析		63

(1) 『確固たる宇治ブランドの確立』～宇治市に新しい人の流れをつくる～


<p>目標</p>	<p>人口減少に歯止めをかけるため、本市の魅力を発掘・創造・発信し、観光客をはじめとした交流人口の増加を図り、魅力の実感を通じて、宇治に住みたい思いの醸成から、転入者を増やすことで社会増を達成する。</p>																																															
<p>数値目標</p>	<table border="1" data-bbox="338 373 2051 743"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>基準値</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成31年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域ブランド調査 魅力度全国ランキング</td> <td>38位 (H26年)</td> <td>54位</td> <td>52位</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>29位 (H31年)</td> </tr> <tr> <td>観光客の宇治市満足度 (飲食・お土産・景観等)</td> <td>69～95% (H23年度)</td> <td>—</td> <td>55～93%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>全て85%以上 (H34年度)</td> </tr> <tr> <td>観光客のリピーター割合</td> <td>58% (H23年度)</td> <td>—</td> <td>56.3%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>70% (H34年度)</td> </tr> <tr> <td>交流人口(観光入込客数)</td> <td>5,201,764人 (H26年)</td> <td>5,598,011人</td> <td>5,587,147人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7,500,000人 (H31年)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成28年度・平成29年度 観光動向調査実施(観光客の宇治市満足度・リピーター割合等を把握)</p>								数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	地域ブランド調査 魅力度全国ランキング	38位 (H26年)	54位	52位				29位 (H31年)	観光客の宇治市満足度 (飲食・お土産・景観等)	69～95% (H23年度)	—	55～93%				全て85%以上 (H34年度)	観光客のリピーター割合	58% (H23年度)	—	56.3%				70% (H34年度)	交流人口(観光入込客数)	5,201,764人 (H26年)	5,598,011人	5,587,147人				7,500,000人 (H31年)
数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値																																									
地域ブランド調査 魅力度全国ランキング	38位 (H26年)	54位	52位				29位 (H31年)																																									
観光客の宇治市満足度 (飲食・お土産・景観等)	69～95% (H23年度)	—	55～93%				全て85%以上 (H34年度)																																									
観光客のリピーター割合	58% (H23年度)	—	56.3%				70% (H34年度)																																									
交流人口(観光入込客数)	5,201,764人 (H26年)	5,598,011人	5,587,147人				7,500,000人 (H31年)																																									
<p>評価・課題</p>	<p>地域ブランド調査による魅力度全国ランキング及び交流人口(観光入込客数)は前年に比べて、ほぼ横ばいとなっており、これまで、市民参画・協働による新たな魅力発信や、観光振興をはじめ本市の魅力的な資源である宇治茶や源氏物語を活かした本市のブランドを高める取組など、積極的な事業の展開を図っているものの、数値的な効果は表れていない。 魅力発信やブランドの確立については、効果が表れるまで、一定の時間を要するものと考えられるため、これまでの事業効果を検証しながら継続・発展的に取組を進め、さらなるブランド化を推進する必要がある。</p>																																															
<p>平成29年度 新規・拡充 事業</p>	<table border="1" data-bbox="338 1088 2051 1366"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>新規・拡充</th> <th>事業概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>魅力発信プラットフォーム運営等事業費(魅力発信大使推進事業費)</td> <td>新規</td> <td>高校生版プラットフォームに参加した高校生を卒業時に宇治魅力発信大使として任命し、市の魅力発信に係る活動を推進</td> </tr> <tr> <td>受付証明等事務費</td> <td>拡充</td> <td>オリジナルの出生届等の作成</td> </tr> <tr> <td>グラウンド・ゴルフ場整備事業費</td> <td>拡充</td> <td>グラウンド・ゴルフ場の全面オープンに伴う記念式典等の開催</td> </tr> <tr> <td>お茶の京都DMO協議会負担金</td> <td>拡充</td> <td>お茶の京都づくりを推進するDMO協議会への負担金</td> </tr> <tr> <td>お茶の京都博開催事業費</td> <td>新規</td> <td>「お茶の京都博」の開催</td> </tr> </tbody> </table>								事業名	新規・拡充	事業概要	魅力発信プラットフォーム運営等事業費(魅力発信大使推進事業費)	新規	高校生版プラットフォームに参加した高校生を卒業時に宇治魅力発信大使として任命し、市の魅力発信に係る活動を推進	受付証明等事務費	拡充	オリジナルの出生届等の作成	グラウンド・ゴルフ場整備事業費	拡充	グラウンド・ゴルフ場の全面オープンに伴う記念式典等の開催	お茶の京都DMO協議会負担金	拡充	お茶の京都づくりを推進するDMO協議会への負担金	お茶の京都博開催事業費	新規	「お茶の京都博」の開催																						
事業名	新規・拡充	事業概要																																														
魅力発信プラットフォーム運営等事業費(魅力発信大使推進事業費)	新規	高校生版プラットフォームに参加した高校生を卒業時に宇治魅力発信大使として任命し、市の魅力発信に係る活動を推進																																														
受付証明等事務費	拡充	オリジナルの出生届等の作成																																														
グラウンド・ゴルフ場整備事業費	拡充	グラウンド・ゴルフ場の全面オープンに伴う記念式典等の開催																																														
お茶の京都DMO協議会負担金	拡充	お茶の京都づくりを推進するDMO協議会への負担金																																														
お茶の京都博開催事業費	新規	「お茶の京都博」の開催																																														

< 具体的施策 >

① 魅力発信プラットフォーム運営等事業

目標 国内だけでなく、世界のたくさんの人々に宇治の魅力を発信するため、市民、事業者、各種団体、学校、市の協働で、魅力の発掘・創造・発信する仕組みを構築する。また、動画やご当地キャラなどを活用し、魅力発信の充実を図る。

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	魅力発信プラットフォーム参加団体数	0団体 (H26年度)	18団体	21団体				
ふるさと応援寄附件数	26件 (H26年度)	1,403件	2,607件					目標達成 2,000件 ↓ 3,000件 (H31年度)

平成28年度 主な事業	事業名	事業結果																		
		魅力発信プロモーションビデオ制作費及びちはや姫広報活動費 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	市の魅力を市内外に広く発信するために、市宣伝大使「ちはや姫」を活用した広報活動等を行うとともに、市の認知度と好感度を向上させ、郷土愛の醸成、交流人口の増加、移住促進などを図ることを目的に、動画を制作しプロモーションを行った。動画は平成29年3月3日に配信を開始してから、多くの再生がされ、また各種メディアにも取り上げられるなどの反響があった。 また、ちはや姫のノベルティ等を制作するとともに、「宇治市宣伝大使ちはや姫」の着ぐるみを新たに製作し、各種イベントへ参加するなど、積極的な活動に取り組んだ。																	
	ふるさと応援施策推進事業	平成28年4月と10月にお礼の特典を拡充し、ふるさと応援寄附金を有効に活用するため、観光振興及び子育て支援などに用途を拡充する宇治市ふるさと応援基金条例の改正を行った。 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> <th>28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>1,403</td> <td>2,607</td> </tr> <tr> <td>金額(千円)</td> <td>925</td> <td>1,648</td> <td>1,397</td> <td>37,842</td> <td>63,095</td> </tr> </tbody> </table> 	年度	24	25	26	27	28	件数	18	24	26	1,403	2,607	金額(千円)	925	1,648	1,397	37,842	63,095
年度	24	25	26	27	28															
件数	18	24	26	1,403	2,607															
金額(千円)	925	1,648	1,397	37,842	63,095															

	事業名	事業結果						
平成28年度 主な事業	魅力発信プラットフォーム運営等事業	<p>「宇治市魅力発信行動指針」に基づき、宇治の魅力づくり、魅力発信に携わる市民の方、NPO団体、その他関係機関が主体となり、参加者の方々が相互に連携することで、持続的な宇治のにぎわいの構築を目的とするプラットフォームで意見交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治魅力発信プラットフォーム会議 開催数 3回 プラットフォーム会議での意見を踏まえ、特に高校生のエネルギーをまちづくりに活かすことを目的に高校生版プラットフォーム会議「めっ茶、好きやねん!!～宇治に届け～」を開催し、企画、運営のイベントを実施した。 ・高校生版プラットフォーム「めっ茶、好きやねん!!～宇治に届け～」開催数 18回 ・宇治橋通りわんさかフェスタにて足湯の設置 10月22日 ・和服をテーマにしたファッションショー「宇治コレクション」の開催 <ul style="list-style-type: none"> 11月20日 (高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテストと同時開催) 12月10日 (京都文教大学ともいき「共生」フェスティバルにて開催) ・高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテスト 応募数 20作品 <ul style="list-style-type: none"> 最優秀賞・宇治に届け賞(高校生審査員賞) 同時受賞 1作品 優秀賞・一般審査員賞 各1作品 						
評価・課題	<p>本市の様々な魅力について発信するため、宇治魅力発信プラットフォーム会議の開催及び高校生版プラットフォーム会議「めっ茶、好きやねん!!～宇治に届け～」による様々な取組を実施し、市の魅力発信に努めた。また、ふるさと応援寄附では、お礼の特典品拡充や広報の強化などにより、前年度に比べて、寄付件数・金額が大幅に増加している。さらに、オリジナルの宇治魅力発信プロモーションビデオを制作・公開し、多くの視聴をいただくなど効果的な魅力発信を実施することができた。</p> <p>これらの取組により重要業績評価指標の目標は達成しており、効果的に事業実施できているため、今後も継続的に取組を進めるとともに、本市の魅力のさらなる発信に向けて、制作したプロモーションビデオの活用をはじめ、市民・事業者・各種団体・学校・市の協働で、魅力を発信する具体的な取組の充実を図るなど、積極的な事業展開を図る必要がある。</p>							
平成29年度 新規・拡充 事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="331 1145 943 1182">事業名</th> <th data-bbox="958 1145 2047 1182">新規・拡充</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="331 1182 943 1257">魅力発信プラットフォーム運営等事業費(魅力発信大使推進事業費)</td> <td data-bbox="958 1182 2047 1257">新規</td> </tr> <tr> <td data-bbox="331 1257 943 1299">受付証明等事務費</td> <td data-bbox="958 1257 2047 1299">拡充</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	新規・拡充	魅力発信プラットフォーム運営等事業費(魅力発信大使推進事業費)	新規	受付証明等事務費	拡充
事業名	新規・拡充							
魅力発信プラットフォーム運営等事業費(魅力発信大使推進事業費)	新規							
受付証明等事務費	拡充							

< 具体的施策 >

②観光振興事業								
目標	本市には、世界遺産である宇治上神社や平等院をはじめ、全国に誇る高級茶の代名詞である宇治茶や源氏物語など、歴史や文化、自然といったたくさんの魅力があり、国内外から多くの観光客が訪れている。こうした資源を積極的に発信するとともに、放ち鶺鴒やスポーツなど新たな資源の創造と山間部にある炭山陶器の里やアクトパル宇治なども含めた市全体の魅力的な資源を活かして、さらなる観光誘客を図る。さらに、京都府や近隣市町と連携した取組を推進する。							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	観光客の宇治市満足度 (飲食・お土産・景観等)	69～95% (H23年度)	—	55～93%				全て85%以上 (H34年度)
	観光客のリピーター割合	58% (H23年度)	—	56.3%				70% (H34年度)
※平成28年度・平成29年度 観光動向調査実施（観光客の宇治市満足度・リピーター割合等を把握）								
平成28年度 主な事業	事業名	事業結果						
	放ち鶺鴒プロジェクト検討事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	人工孵化で繁殖した鶺鴒による放ち鶺鴒の実施に向けた取組について、(公社)宇治市観光協会に対し補助金助成を行った。 平成28年度には、人口孵化により増加した鶺鴒(5羽)の環境整備として、鶺鴒小屋の増築・修繕を行った。 ・放ち鶺鴒プロジェクト検討事業補助金 3,500千円						
	観光駐車場等対策事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	平成25年に策定した「宇治市観光振興計画」に基づき、(公社)宇治市観光協会をはじめ観光事業者と連携し、観光シーズンにおける交通渋滞の緩和を図るため、各所に誘導看板を設置するとともに、臨時駐車場の開設及び案内誘導を行った。						
	観光関連施設整備事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	中宇治エリアに点在する観光トイレ等の観光施設の修繕を行った。また、JR宇治駅前、夢の浮橋ひろば、天ヶ瀬吊橋前、宇治神社前の4ヶ所の公衆便所について、改修に係る設計を行った。						
	観光振興計画推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	平成25年に策定した「宇治市観光振興計画」の推進に向け、学識経験者、(公社)宇治市観光協会、宇治商工会議所、平等院、商店街、茶業関係者などで構成する「宇治市観光振興計画推進委員会」を設置し、宇治の観光活性化のための議論を行った。また、平成28年度は宇治市内主要観光施設周辺において10月、12月、1～2月の3期、京都市内においては11月、各商店街に向けては12月に観光動向調査を実施し、台湾を対象としたインターネット調査も実施した。						

	事業名	事業結果				
平成28年度 主な事業	観光活性化事業補助金 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	宇治の観光振興に係るイベント等及び放ち鶉飼プロジェクトの検討等に対して(公社)宇治市観光協会等へ助成を行った。				
	グラウンド・ゴルフ場整備事業	平成22年度に開所したグラウンド・ゴルフ場に新たに第3コース及び駐車場を整備し、平成29年秋頃の供用に向けて、造成工事及び張芝工事などに着手した。 整備概要 コース 1コース8ホール(合計3コース24ホール) 駐車場 43台(合計102台) その他 東屋1棟(合計2棟)				
	観光情報発信事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	宇治市の観光資源の情報発信として、各地での観光プロモーションの実施、パンフレット等の発行、広報物への観光情報の掲載を行った。また、新たな観光資源であるアニメーションの活用や他団体との連携業務を行った。 ・中国語版パンフレット「京都・宇治」 発行部数：繁体字・簡体字各4万部 ・宇治市観光大使(10名)の任命 11月14日 ・宇治市×京阪電車舞台めぐりマップ制作(アニメ「響け! ユーフォニアム」連携) ・宇治市観光PR記事掲載「関西ウォーカー」平成29年1月24日、3月7日発売号掲載 ・京ごよみ観光情報掲載 ・京都レストランウインターズスペシャル2017公式ガイドブック観光情報掲載 ・香港トップセールスの実施				
	観光サイン等整備計画策定事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	宇治市歴史的風致維持向上計画の重点区域である中宇治地域及び三室戸寺周辺、萬福寺周辺エリアにおいて、観光案内サイン整備推進委員会の方針として「撤去」「改修」が示された宇治市以外が設置したサインについて、設置主体への説明と調整を図った。また、サイン整備後の維持管理手法等について、委員会において議論を行った。				
評価・課題	<p>宇治の観光情報発信への様々な取組を行うことにより、宇治の認知度及び宇治への訪問意欲の向上に努めることができた。また、ハード面においては、宇治市観光案内サイン等整備計画策定委員会での議論し、宇治市観光案内サイン整備ガイドラインに沿った観光サインの整備に向けて取組を進めるとともに、観光トイレの改修等を進めることができた。</p> <p>さらに、放ち鶉飼の検討を進めるとともに、グラウンド・ゴルフ場の第3コース及び駐車場の整備を進め、新たな資源の創造や市全体の魅力を活かした取組を進めることができた。</p> <p>今後も引き続き、観光サインの整備等を進め観光客の受け入れ環境の充実を図るとともに、新たな資源を活用するなど、市全体の魅力的な資源を活かして、さらなる観光誘客を図る必要がある。</p>					
平成29年度 新規・拡充 事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>新規・拡充</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グラウンド・ゴルフ場整備事業費</td> <td>拡充</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	新規・拡充	グラウンド・ゴルフ場整備事業費	拡充	
事業名	新規・拡充					
グラウンド・ゴルフ場整備事業費	拡充					

<具体的施策>

③観光インバウンド推進事業								
目標	東京オリンピック・パラリンピックを見据えつつ、外国人観光客のさらなる誘客を図るため、源氏物語ミュージアムをはじめ、宇治の魅力を世界に発信する。							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	市営茶室対鳳庵外国人観光客数	6,059人 (H26年度)	7,198人	8,442人				目標達成 7,500人 ↓ 9,000人 (H31年度)
	源氏物語ミュージアムでの音声 ガイド貸出件数	4,021件 (H26年度)	3,671件	6,159件				目標達成 5,500人 ↓ 6,500人 (H31年度)
平成28年度 主な事業	事業名		事業結果					
	観光インバウンド推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)		海外からの観光客誘客のために、様々なメディアによる海外向けの情報発信を行った。香港ウォーカー・ジャパンウォーカーに宇治情報を掲載した。 ・香港ウォーカー 発行部数：70,000部 ・ジャパンウォーカー（台湾で発行） 発行部数：100,000部					
源氏物語ミュージアム広報活動事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)		旅行情報誌等、計5誌に当館の広告を掲載した。関東地方の鉄道会社設置のフリーペーパーを用いた広報を行い、関東方面からの誘客を図るほか、英文情報誌を2誌に拡大した。						
評価・課題	海外に向けた宇治の情報発信を行うことにより、海外からの観光誘客を図ることができた。市営茶室対鳳庵の外国人観光客の増加につながるなど、重要業績評価指標の目標も達成していることから、効果的な取組を進めることができていると考えており、引き続き、様々なメディアを利用した情報発信に努めるとともに、外国人観光客のさらなる誘客に向けて、東京オリンピック・パラリンピックも見据えながら、外国人観光客に向けた広報を強化し、受け入れ環境の整備や海外向けセールスを拡充する必要がある。							

<具体的施策>

④宇治茶活用事業								
目標	観光客をはじめ、来訪者等を「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき、市民・茶業者とともに宇治茶でおもてなしするほか、宇治茶を巡るツアーの実施など、宇治茶を活用した事業により、宇治茶のブランド力の向上とさらなる観光誘客を図る。また、日本遺産に認定された「日本茶800年の歴史散歩」を活かしながら、京都府や近隣市町と連携し、より効果的な取組を推進する。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	宇治茶を目的に宇治へ来る割合	15% (H23年度)	—	24.1%				30% (H34年度)
	宇治茶巡りガイドツアー参加者数	0人 (H26年度)	1,036人	847人				1,200人 (H31年度)
※平成28年度・平成29年度 観光動向調査実施（宇治茶を目的に宇治へ来る割合等を把握）								
平成28年度 主な事業	事業名	事業結果						
	お茶の京都DMO協議会負担金 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	京都府が中心となって設立された、お茶の京都DMO設立推進協議会の運営に参画し、積極的に関わることで、お茶の京都DMO（正式名称：一般社団法人京都山城地域振興社）が設立された。						
	お茶の京都観光協議会負担金 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	京都府及び山城広域振興局が中心となり、交流人口の拡大や地域経済の活性化など「お茶の京都」構想の実現に向け、府、市町村、観光振興団体、交通事業者等が連携することで、二次交通対策及び、お茶などの歴史・文化にあふれた様々なストーリー性やテーマ性を持つ山城の地域資源と連携した観光振興が図られた。						
	宇治茶宣伝事業費補助金 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	京都府内外で一般の方を対象にお茶の淹れ方教室の開催や、無料で試飲してもらうなど、積極的に宇治茶の美味しさや素晴らしさを宣伝し、消費拡大に繋げる各種事業を実施している京都府茶業会議所に対して補助金を交付した。						
	宇治茶普及宣伝事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	「市民茶摘みのつどい」を開催し、伝統的な宇治茶の茶摘み（手摘み）を体験してもらい、お茶に親んでもらうとともに理解を深め、本市の茶業振興を図った。平成28年度の参加者は400人であった。						
市営茶室管理運営事業 (茶室茶道体験等)	宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために、市営茶室「対鳳庵」を設置している。宇治を訪れる観光客が本場の宇治茶を気軽に味わうことができるようになっており、平成28年度の入席者数は21,329人であった。							

	事業名	事業結果
平成28年度 主な事業	宇治茶おもてなし推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	<p>各種イベントにて市内産宇治茶の普及啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年9月 第24回京都観光プロモーションにて旅行会社向け碾玉PR 10月 京都駅JR東海ツアーズ前にて碾玉発売記念PR 関西産業観光博覧会（関西国際空港）にて碾玉PR 11月 宇治市観光協会（観光センター）にて碾玉試飲会 宇治市観光大使就任式（市役所）にて安田美沙子さんと碾玉乾杯 平成29年2月 プロモーション会議京都（京都テルサ）にて旅行会社向け碾玉PRほか <p>宇治市役所1階市民交流ロビー給茶機を7月の約2週間、市内産玉露かりがねの新茶が味わえる特別仕様にした。</p> <p>市主催の会議等の際に用意する飲み物について市内産玉露かりがねを使用した。</p> <p>市職員向けにお茶の淹れ方研修を実施した。（全3回実施）</p>
	宇治茶巡りガイドツアー事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	宇治茶をテーマに茶園・茶問屋街・茶工場等を巡る無料ガイドツアーを実施した。ツアー参加者は847人であった。
	宇治茶まつり事業への支援	宇治茶と宇治の観光の推進を目的とし、茶祖ならびに茶業先覚者を祀り茶業の発展を祈願する宇治茶まつりを行う宇治茶祭奉賛会に対して補助金を交付した。
評価・課題	<p>「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づく各種事業の実施や市営茶室「対鳳庵」での宇治茶の提供により、宇治茶の普及及び観光の振興を図ることができた。</p> <p>前年度を下回る重要業績評価指標の改善を図るためにも、今後は、宇治茶ブランドの向上とさらなる観光誘客を図るため、事業効果を検証しながら、国内外に対して「対鳳庵」のPR強化をはじめ、引き続き宇治茶を活用した事業を実施していく必要がある。さらに、「お茶の京都」構想に関する取組を、京都府をはじめとした関係団体と連携を図りながら、広域的な取組もあわせて推進していく必要がある。</p>	
平成29年度 新規・拡充 事業	事業名	新規・拡充
	お茶の京都DMO協議会負担金	拡充
	お茶の京都博開催事業費	新規

<具体的施策>

⑤宇治茶ブランド化事業								
目標	市内産宇治茶のブランド化を進め、確固たるものとする事で、宇治茶はもとより本市のブランド力の向上を図る。							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	宇治茶を目的に宇治へ来る割合	15% (H23年度)	—	24.1%				30% (H34年度)
※平成28年度・平成29年度 観光動向調査実施（宇治茶を目的に宇治へ来る割合等を把握）								
平成28年度 主な事業	事業名		事業結果					
	市内産宇治茶ブランド化推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象) (平成28年度地方創生推進交付金対象)		市内産宇治茶のブランド力を強化するため、リーフレット等を使用した宇治茶の情報発信、認証制度の検討会（全14回）、市内産茶葉のみを使用した「碾玉」の販売・PRなどの取組を実施した。「碾玉」については、平成28年10月に市内小売店（計14店舗）で販売を開始し、さらに、ふるさと納税、インターネット通販・催事での取扱いなど様々な側面で販路拡大を行った。					
	六次産業化推進事業		産業連関表による1次産業の流通拡大に向けた分析のため、農業関連へのアンケート調査、聞き取り調査にてデータ収集を行った。					
産業連関表策定事業		市内経済の統計情報の分析と、市内事業所へのアンケート結果の取りまとめを行い、産業連関表策定のための準備を行った。						
評価・課題	「碾玉」の商品化に取り組み、販売・PRを通して、宇治茶のブランド価値を高めることができた。今後は、宇治市版産業連関表を活用するとともに、さらなる宇治ブランドの確立に向け、生産農家の後継者育成のほか、認証制度については、「宇治碾茶」の商標登録に向けた取組を支援していく必要がある。							

<具体的施策>

⑥源氏物語のまちづくり等事業

目標

本市は源氏物語宇治十帖の舞台となったまちであり、これまでから源氏物語のまちづくりを進めている。引き続き、源氏物語ミュージアムを中心に、源氏物語に関わる他市と連携した取組など、源氏物語を活かしたまちづくりを進め、本市のブランド力の向上を図る。

重要業績
評価指標
(KPI)

指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
源氏物語ミュージアム来館者数	118,377人 (H26年度)	112,372人	89,979人				160,000人 (H31年度)

平成28年度
主な事業

事業名	事業結果
源氏物語ミュージアムリニューアル事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	国内外の多くの来館者が、『源氏物語』と平安時代の文化に親しめる施設として、施設全体の充実を目指し、開館20周年の平成30年にリニューアルをするため、「宇治市源氏物語ミュージアムリニューアル基本構想」、「宇治市源氏物語ミュージアムリニューアル基本設計」を策定した。
企画展示 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	企画展では、他館との連携や関連事業を実施した。 ・源氏物語 かさねの色目 —宇治十帖の世界— ・宇治市歴史資料館合同企画 なんといいってもお茶は宇治 ・源氏ワンダーランド —平安時代の人々とくらし— ・源氏物語の音楽 ・超絶技巧！銅版画の世界 —描かれた京都— ・江戸時代の源氏物語 —見立てとやつし—
宇治十帖スタンプラリー開催事業 (平成28年度地方創生推進交付金対象)	宇治十帖の古跡をめぐる基本コースと、宇治上神社及び平等院など史跡・寺社を巡る健脚コースの2コースを設定し、スタンプラリーを開催した。 ・開催日数5日(10月22日、23日、29日、30日、11月3日) ・踏破者数17,503人
紫式部文学賞及び紫式部市民文化賞贈呈式及び記念イベント	文学賞の受賞作品は平田俊子氏の「戯れ言の自由」に決定し、11月20日に贈呈式と記念イベントを行った。贈呈式の前に源氏物語クイズが行われ、贈呈式のオープニングとして源氏物語の朗読を実施した。記念イベントでは、「”美と艶”の今昔～平成から平成まで～」と題し、井上章一氏(国際日本文化研究センター教授)による講演等を行った。

	事業名	事業結果
平成28年度 主な事業	古典の日推進事業	<p>平成20年11月1日に「源氏物語千年紀委員会」が開催した記念式典において、11月1日を「古典の日」とする宣言を行い、京都府・京都市・宇治市等で構成する古典の日推進委員会が法制化に向けた活動を行ってきた。その結果、平成24年9月に「古典の日に関する法律」が制定、施行された。</p> <p>法律の施行後も恒常的な推進活動は継続しており、古典の日推進委員会において様々な古典に親しむ事業を実施している。</p> <p>平成28年度は、古典の日推進委員会主催で、「源氏物語」をメインテーマとした古典の日フォーラム2016を開催した。</p>
評価・課題	<p>源氏物語ミュージアムでは、毎回テーマを工夫した話題性のある企画展の開催により、観覧者に満足度の高い展示を提供することができた。</p> <p>また、宇治十帖スタンプラリーなど、源氏物語をテーマとするイベントを開催してきたことにより、市民の文化活動の活性化及び「源氏物語のまちづくり」の定着を図ることができた。</p> <p>源氏物語ミュージアムでは、策定した源氏物語ミュージアムリニューアルの基本構想及び基本設計をもとに、「観光」と「生涯学習」の拠点として再整備を行うとともに、魅力ある企画展の開催により、新規来館・再来館者の増加を目指す。</p>	

<具体的施策>

⑦宇治の魅力の深化事業

目標

(仮) 宇治川太閤堤跡歴史公園の整備を進め、新たな観光資源を創出するとともに、宇治茶や宇治の歴史情報をあわせて発信することで、宇治の魅力の深掘りによる周遊観光の促進を図る。また、宇治の伝統文化を次代へ引き継ぐとともに、文化や歴史など多くの恵まれた資源の有機的な連携による、さらなる魅力の向上(深化)を目指す。

重要業績
評価指標
(KPI)

指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
重要文化的景観地区選定面積	228.5ha (H26年度)	228.5ha	228.5ha				520.0ha (H31年度)

平成28年度
主な事業

事業名	事業結果
(仮) 宇治川太閤堤跡歴史公園史跡・交流ゾーン整備事業	<p>史跡整備のため、太閤堤築堤期を再現するAゾーンでは、石張り遺構の再現に使用するGRCパネル9.6㎡を製作した。また、既に製作済みのものも含め、263.2㎡のGRCパネルを設置した。一方、太閤堤が埋没し茶園ができ始めた江戸後期の景観再現を計画するBゾーンでは、茶樹の植栽を体験する講座を実施し、市民とともに修景茶園の整備を行った。また、石出しの発掘調査を行う中で、太閤堤フォーラムを開催し、発掘調査現場を見学をするなど50名の参加を得た。</p> <p>歴史公園交流ゾーンの整備については、従前計画の見直しに着手するため、庁内関係部局とも連携を図りながら見直しの方向について検討を行った。その結果、観光目的に特化する方向を軸に計画を見直すこととし、事業進捗に取り組んでいる。一方、国土交通省所管の社会資本整備総合交付金に係る都市再生整備計画の交付金については、4億2,070万円の交付が決定され、宇治市土地開発公社からの用地買戻し等に充当した。</p>
宇治田楽まつり開催事業	<p>平安時代に栄えた田楽を、現代風アレンジし、10月15日に府立宇治公園中の島で盛大に宇治田楽まつりとして、実行委員会主催で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出演者数 約120人 ・観覧者数 約2,500人
宇治十帖スタンプラリー開催事業(再掲)	(1) - ⑥掲載
古典の日推進事業(再掲)	(1) - ⑥掲載

	事業名	事業結果
平成28年度 主な事業	文化的景観保護推進事業	重要文化的景観の追加選定を目指して取り組むとともに、景観の保全を図るため委員会を2回開催した。修理事業としては旧京都府茶業会議所の耐震補強、外観・内部修理、屋根葺き替え修理事業を行った。また、「宇治の文化的景観」修理報告書を刊行した。全国文化的景観地区連絡協議会の顧問市として、石川県金沢市で開催された全国大会を支援した。市民の文化的景観への理解度を高めるため、文化的景観フォーラム2017を開催し50名の参加を得た。
評価・課題	<p>(仮) 宇治川太閤堤跡歴史公園の史跡整備に向け事業進捗を図るとともに、遺構再現パネルの作成と史跡整備工事及び太閤堤フォーラムを行うことにより、市民等に史跡の歴史的価値・必要性等を普及することができた。一方で、歴史公園交流ゾーンの整備については、課題であった従前計画の見直しについて、観光目的に特化する方向で計画を見直しする中で、今後、事業の具体化に向けて取組を進める必要がある。</p> <p>このほか、宇治田楽まつりや重要文化的景観も活かしながら、引き続き、歴史的な資産と一体となった魅力あふれる宇治のまちづくりに努める必要がある。</p>	

(2) 『市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生』～宇治への愛着から定住促進につなげる～

目標	<p>人口減少に歯止めをかけるためには、人口の流入とあわせて、人口の流出抑制を図ることが重要である。市民の宇治への愛着の醸成を図るとともに、行政だけでなく市民自らが、魅力あるふるさと宇治を築くことで、宇治に住み続けたい思いへとつなげ、人口流出抑制を図る。</p>																																							
数値目標	<table border="1" data-bbox="338 379 2040 671"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>基準値</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>平成31年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民の宇治への愛着度</td> <td>83% (H25年度)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>90% (H31年度)</td> </tr> <tr> <td>市民の定住意向</td> <td>61% (H25年度)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>70% (H31年度)</td> </tr> <tr> <td>社会動態 (転入－転出数)</td> <td>-656人 (H26年)</td> <td>-889人</td> <td>-580人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0人 (H31年)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成29年度 アンケート調査実施予定（市民の宇治への愛着度・市民の定住意向等を把握）</p>								数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値	市民の宇治への愛着度	83% (H25年度)	—	—				90% (H31年度)	市民の定住意向	61% (H25年度)	—	—				70% (H31年度)	社会動態 (転入－転出数)	-656人 (H26年)	-889人	-580人				0人 (H31年)
数値目標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値																																	
市民の宇治への愛着度	83% (H25年度)	—	—				90% (H31年度)																																	
市民の定住意向	61% (H25年度)	—	—				70% (H31年度)																																	
社会動態 (転入－転出数)	-656人 (H26年)	-889人	-580人				0人 (H31年)																																	
評価・課題	<p>社会動態は減少幅が縮小しており、これまでの取組の効果が一定表れているものの、いまだ転出超過であり、人口の流入とあわせて、人口の流出抑制を図るための施策の実施が必要である。人口流出抑制のためには、宇治への愛着の醸成が必要であり、これまでの事業効果を検証しながら、今後も引き続き市民参画・協働による事業実施を行っていく必要がある。</p>																																							
平成29年度 新規・拡充 事業	<table border="1" data-bbox="338 943 2040 1501"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>新規・拡充</th> <th>事業概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市政だより発行費</td> <td>拡充</td> <td>紙面の内容・デザインをリニューアル</td> </tr> <tr> <td>国際交流事業（ヌワラエリヤ市訪問調査員派遣事業費）</td> <td>新規</td> <td>この間休止していた国際友好都市であるヌワラエリヤ市への公式訪問団の派遣に向けて、現地調査を実施</td> </tr> <tr> <td>文化祭開催費</td> <td>拡充</td> <td>市民文化の振興を図るため、芸術文化協会に対し、市民文化芸術祭に係る実行委員会事務局業務を委託</td> </tr> <tr> <td>ふるさと応援施策推進事業費</td> <td>拡充</td> <td>「宇治ふるさとプレゼント」の品目及び寄附の用途の追加</td> </tr> <tr> <td>「宇治学」推進事業費</td> <td>拡充</td> <td>小学校3・6年生で副読本を活用し、「宇治学」の学習を充実</td> </tr> <tr> <td>高齢者保健福祉計画策定調査費</td> <td>拡充</td> <td>高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画を策定</td> </tr> <tr> <td>音訳ボランティア・要約筆記ボランティア養成事業補助金</td> <td>新規</td> <td>音訳ボランティア及び要約筆記ボランティアの養成講座に対する補助</td> </tr> <tr> <td>認知症総合センター整備推進事業費</td> <td>新規</td> <td>認知症ケアに携わる人材の養成、地域資源との連携強化等を実施</td> </tr> </tbody> </table>								事業名	新規・拡充	事業概要	市政だより発行費	拡充	紙面の内容・デザインをリニューアル	国際交流事業（ヌワラエリヤ市訪問調査員派遣事業費）	新規	この間休止していた国際友好都市であるヌワラエリヤ市への公式訪問団の派遣に向けて、現地調査を実施	文化祭開催費	拡充	市民文化の振興を図るため、芸術文化協会に対し、市民文化芸術祭に係る実行委員会事務局業務を委託	ふるさと応援施策推進事業費	拡充	「宇治ふるさとプレゼント」の品目及び寄附の用途の追加	「宇治学」推進事業費	拡充	小学校3・6年生で副読本を活用し、「宇治学」の学習を充実	高齢者保健福祉計画策定調査費	拡充	高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画を策定	音訳ボランティア・要約筆記ボランティア養成事業補助金	新規	音訳ボランティア及び要約筆記ボランティアの養成講座に対する補助	認知症総合センター整備推進事業費	新規	認知症ケアに携わる人材の養成、地域資源との連携強化等を実施					
事業名	新規・拡充	事業概要																																						
市政だより発行費	拡充	紙面の内容・デザインをリニューアル																																						
国際交流事業（ヌワラエリヤ市訪問調査員派遣事業費）	新規	この間休止していた国際友好都市であるヌワラエリヤ市への公式訪問団の派遣に向けて、現地調査を実施																																						
文化祭開催費	拡充	市民文化の振興を図るため、芸術文化協会に対し、市民文化芸術祭に係る実行委員会事務局業務を委託																																						
ふるさと応援施策推進事業費	拡充	「宇治ふるさとプレゼント」の品目及び寄附の用途の追加																																						
「宇治学」推進事業費	拡充	小学校3・6年生で副読本を活用し、「宇治学」の学習を充実																																						
高齢者保健福祉計画策定調査費	拡充	高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画を策定																																						
音訳ボランティア・要約筆記ボランティア養成事業補助金	新規	音訳ボランティア及び要約筆記ボランティアの養成講座に対する補助																																						
認知症総合センター整備推進事業費	新規	認知症ケアに携わる人材の養成、地域資源との連携強化等を実施																																						

平成29年度 新規・拡充 事業	事業名	新規・拡充	事業概要
	歯科健診費	新規	後期高齢者医療制度被保険者のうち前年度75歳の方を対象に、口腔機能低下の予防を図り、誤嚥性肺炎等の疾病予防につなげるため、歯・歯肉の状態や口腔清掃状態等をチェックする歯科健診を実施
	福祉医療費支給費	拡充	障害者医療において、市民税非課税世帯の療育手帳B所持者を対象に追加（1月診療分から）
	重度心身障害老人健康管理費	拡充	市民税非課税世帯の療育手帳B所持者を対象に追加（1月診療分から）
	人間ドック受診補助金	拡充	受診定員の拡大

<具体的施策>

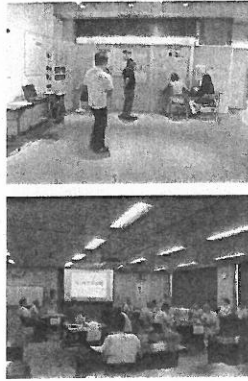
①市民参画・協働によるふるさと宇治創生事業

目標 魅力あるまちとなるためには、行政だけでなく市民がまちに愛着を持ち、まちづくりに参画することが重要であると考えことから、市民参画・協働によるふるさと宇治の創生を推進する。あわせて、ふるさと宇治の創生には市民の主体的な関わりが何よりも重要であるため、これらを担う人材の発掘・育成に取り組む。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	魅力発信プラットフォーム参加 団体による魅力発信事業数	0件 (H26年度)	1件	1件				

平成28年度 主な事業	事業名	事業結果
	市民と市長の対話ミーティング事業	<p>それぞれの分野で活動する市民と活発な議論を行った。</p> <p>・開催状況 第13回 テーマ 住みなれた地域で生活していくために ～だれもがいきいきと暮らせるまちを目指して～ 日 時 6月4日(土)午後2時～4時30分 場 所 東宇治地域福祉センター</p> <p>第14回 テーマ 食育の推進で健康長寿日本一を 日 時 9月3日(土)午後1時～2時10分 場 所 南宇治コミュニティセンター</p>
	安全・安心まちづくり推進事業	<p>市民の防犯に対する意識を高めるきっかけとして、9月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。 小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に助成金を交付した。</p>
	文化祭開催事業	<p>子ども手づくり文化祭では、市立小学校の協力のもと、展示、クラフト、お茶席を開催し、市民文化芸術祭では、展示、舞台披露、お茶席、フリーマーケットを開催した。また、市民文化芸術祭から独立した参加事業(いけばな・音楽・写真・絵画)を開催した。</p> <p>・子ども手づくり文化祭(開催日9月22日) 来場者数 約2,600人 ・市民文化芸術祭(開催日10月29日、30日) 参加者数 約1,000人、来場者数 約5,700人 ・同参加事業 参加者数 約700人、来場者数 約2,400人</p>



	事業名	事業結果								
平成28年度 主な事業	まちづくり活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区まちづくり協議会パネル展 開催期間 9月5日～9月9日 目的 協議会の活動内容について紹介 ・ うじ井戸端会議 開催日 平成28年5月25日、9月8日、平成29年3月22日 目的 協議会及びまちづくりマイスター（まちづくり塾修了生）の情報及び意見の交換、交流 ・ 宇治市まちづくり審議会 2回開催 宇治市まちづくり審議会部会 1回開催 ・ 認定した協議会に対して行う支援 専門家派遣件数 0件 活動費助成件数 3件 								
	魅力発信プラットフォーム運営等事業（再掲）	(1) -①掲載								
評価・課題	<p>市民と市長の対話ミーティング事業では、各分野で活動している市民と活発な議論を行うことにより、市民参画・協働の推進及び地域力向上を図ることができた。さらに、まちづくり活動への支援や防犯推進組織の活動支援等の取組により、市民参加による地域における自主的な防犯活動の推進等を行うことができた。</p> <p>今後も、市民参画・協働によるふるさと宇治の創生を推進するため、引き続き魅力発信プラットフォーム運営等の事業を実施していく必要がある。</p>									
平成29年度 新規・拡充 事業	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">事業名</th> <th style="width: 50%;">新規・拡充</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市政だより発行費</td> <td>拡充</td> </tr> <tr> <td>国際交流事業（ヌワラエリヤ市訪問調査員派遣事業費）</td> <td>新規</td> </tr> <tr> <td>文化祭開催費</td> <td>拡充</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	新規・拡充	市政だより発行費	拡充	国際交流事業（ヌワラエリヤ市訪問調査員派遣事業費）	新規	文化祭開催費	拡充
事業名	新規・拡充									
市政だより発行費	拡充									
国際交流事業（ヌワラエリヤ市訪問調査員派遣事業費）	新規									
文化祭開催費	拡充									

<具体的施策>



②宇治への愛着醸成事業

目標 宇治の子どもが宇治の魅力を知り・実感することで宇治への愛着を深めることをはじめ、魅力の再認識を通じて、すべての市民の宇治への愛着を深め、定住の促進を図る。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	市民の定住意向	61% (H25年度)	—	—				70% (H31年度)
	市内小学3年生に対し、宇治茶を使用した授業の時間数	0時間 (H26年度)	4.6時間	6.7時間				5時間 (H31年度)

※平成29年度 アンケート調査実施予定（市民の定住意向等を把握）

平成28年度 主な事業	事業名	事業結果
	魅力発信プラットフォーム運営等事業（再掲）	(1) -①掲載
	ふるさと応援施策推進事業（再掲）	(1) -①掲載
	市民観光デイ事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	市民に宇治市の良さを知ってもらい、ふるさと意識や観光客を歓迎する意識の醸成を図るための取組として、平成28年度については、萬福寺での座禅及び煎茶道の体験を実施した。 ・萬福寺拝観・座禅体験及び市内産煎茶の接待 日時：11月19日 午後1時～午後5時 定員：100組200人 応募数：215件
	「宇治学」推進事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	・小学校3年生、6年生で宇治の特色及び課題などをテーマに、「探究的な学習」「協働的な学習」の学び方が学べるように副読本及び指導の手引きの作成及び配付した。 (テーマ) 小学校3年生・・・宇治茶のステキをつたえよう 小学校6年生・・・「ふるさと宇治」の魅力大発信 ・市立小学校22校の全てで3年生を対象とした抹茶体験授業を実施した。
「宇治学」宇治の魅力体験支援事業 (平成27年度地方創生加速化交付金対象)	宇治市立22小学校の第6学年の児童1,741人が、宇治の魅力体験として平等院の拝観などを行った。 児童が宇治のことを知ろうとする意欲付けになるとともに、見学・発見を通して、さらに自分たちで探究していこうとする力を育てる体験となった。	

	事業名	事業結果						
平成28年度 主な事業	保育所・幼稚園・小学校での環境啓発事業	<p>地球環境への負荷を低減するために、未来の社会を担う子ども達を対象に、環境啓発事業として、下記の環境教育を行った。</p> <p>収集員による実際の体験談や塵芥収集車（スケルトンパッカー車「うじのすけ」）の構造学習等を通じて、子ども達により環境問題を身近に感じてもらい、循環型社会の形成の推進を図った。</p> <p>【保育所・幼稚園】実施園：22園 内容：ものの大切さやごみの分別を題材とした「紙芝居」の読み聞かせ</p> <p>【小学校】実施校：21校 内容：「ごみのお話」や「ごみ分別ゲーム」を通じて、ごみ問題の現状、限りある資源の有効利用、ごみの減量、分別収集の重要性について、理解を深めてもらう授業</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ごみ分別ゲームの様相 「うじのすけ」の構造学習の様相</p>						
評価・課題	<p>重要文化財である萬福寺での座禅及び煎茶道の体験を通じて、市民のふるさと意識及び観光客に対するおもてなしの心の醸成を図るとともに、市内小学3年生に対する宇治茶を使用した授業の実施により、宇治の子どもが宇治の魅力を知るための授業を実施することができた。</p> <p>今後も、引き続き宇治への愛着を深め、定住の促進を図るための事業を実施していく必要がある。</p>							
平成29年度 新規・拡充 事業	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">事業名</th> <th style="width: 50%;">新規・拡充</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ふるさと応援施策推進事業費</td> <td>拡充</td> </tr> <tr> <td>「宇治学」推進事業費</td> <td>拡充</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	新規・拡充	ふるさと応援施策推進事業費	拡充	「宇治学」推進事業費	拡充
事業名	新規・拡充							
ふるさと応援施策推進事業費	拡充							
「宇治学」推進事業費	拡充							

< 具体的施策 >

③ 誰もが生き生きと暮らせる宇治づくり推進事業

目標 誰もが生き生きと暮らすことはまちの活力を生み出すことから、健康寿命の延伸を図り、健康長寿日本一に向けた取組を推進する。

重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	市民の定住意向		61% (H25年度)	—	—			

※平成29年度 アンケート調査実施予定（市民の定住意向等を把握）

平成28年度 主な事業	事業名	事業結果
		健康づくり・食育推進事業
	初期認知症総合相談支援事業	<p>認知症の人とその家族の訪問を実施し、早期発見、早期支援を行った。また、認知症対応型カフェを市内6圏域で33回開催し、認知症の人に社会参加ができる場、居場所、生きがいつくり、ピアサポートの場を提供し、加えて、認知症の人とその家族、地域住民に対して、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次予防事業該当者訪問延べ訪問件数 703人 ・認知症対応型カフェ参加者延べ人数 780人 ・認知症初期集中支援チーム対象事例数 60事例 ・初期集中支援チーム員会議 60回 ・認知症を正しく理解するための連続講座参加実人数 91人 ・認知症講演会 150人 <p>認知症予防を目的とした教室及び認知症の正しい理解の普及・啓発（認知症あんしんサポーター養成講座）を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症予防教室参加者数（実人数） 123人 ・認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数 3,835人 ・脳活性化教室延べ参加者数 5,068人 ・キャラバン・メイト養成フォローアップ講座延べ参加者数 51人 ・キャラバン・メイト養成講座参加者数 32人

事業名	事業結果
認知症の人にやさしいまち・うじの推進事業	<p>認知症を「自分のこと」として捉え、市民や企業等が認知症を正しく理解し、相手を思いやるやさしさをもって、自分のできるアクションを起こしていく、『宇治市認知症アクションアライアンス“れもねいど”』を設立し、「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向け、認知症の人の視点に立った取組を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ “れもねいど” 推進協議会の開催 4回 ・ “れもねいど” 推進協議会のワーキングチームの企画運営 (当事者研究チーム、リクルートチーム、普及啓発チーム) ・ れもねいど加盟登録団体数 34団体 ・ 認知症フォーラムin宇治参加者数 250人 ・ れもねいだ一登録者(累計人数) 66人
心身障害児通園事業	<p>障害児通園(児童発達支援)事業について補助金を交付した。また、通園事業での療育を希望しながら待機となった子どもに対し、待機児親子サポート事業を実施しているが、平成28年度は待機児がなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童発達支援事業所等 <ul style="list-style-type: none"> 児童デイころぼっくる(アジュール舎) こどものき(宇治福祉園) かおり之園(かおり福祉会) 子ども発達さぽーとセンターあゆみ園(不動園)
ふれあい収集(ごみ収集福祉サービス)	<p>ごみ出しが困難な高齢者世帯などに対して、ふれあい収集(戸別収集)を実施した。ふれあい収集 総世帯数410世帯(平成28年度末現在)</p>
各種介護予防事業	<p>介護予防を目的とした教室の開催及び普及啓発を行った。</p> <p>一次予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パワーリハビリ事業(延人数) 10,839人 ・ B型リハビリ教室(延人数) 6,448人 <p>一次予防事業 介護予防普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ためしてナッ得!健康のすすめ(延人数) 108人 ・ ケアラズ・カフェ(延人数) 100人 <p>二次予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 足しっかり体操教室(延人数) 3,131人 ・ パワーリハビリ教室(延人数) 3,110人 ・ 足腰改善体操教室(延人数) 9,980人 ・ 訪問型介護予防事業(延人数) 127人 <p>健康増進法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅寝たきり者等訪問指導事業(延人数) 39人 ・ 機能訓練事業(延人数) 17人

平成28年度
主な事業

	事業名	事業結果																
平成28年度 主な事業	鳳凰大学事業	<p>宇治鳳凰大学では、文学歴史・健康管理・政治経済・社会福祉を4年間で学ぶ。従前は1学年の定員が100名だったが、団塊の世代が退職する時期になることから25年度から定員を倍増し200名としている。28年度は1年生から4年生合計674名が在籍した。</p> <p>また、学習成果を発表する大学祭はOBの参加もあり、約1000人が舞台発表や作品展示を行った。</p>																
	高齢者アカデミーの実施	<p>高齢者アカデミーの対象年齢を満70歳以上から65歳以上へと引き下げて開校し、高齢者の社会参加、生きがいづくりに寄与するとともに、地域社会に貢献する人材養成を行った。</p> <p>・受講者数 1期生22人 2期生21人 3期生14人 4期生23人 合計80人</p>																
評価・課題	<p>健康づくり・食育推進事業や認知症の人にやさしいまち・うじの推進により、時代に応じた健康づくりと食育の一体的な推進や認知症の正しい知識の普及・啓発に努めることができた。さらに、鳳凰大学や高齢者アカデミーの実施により、高齢者の生きがいづくりや地域づくりを進めることができた</p> <p>今後は、認知症の人にやさしいまち・うじの推進などに引き続き取り組むとともに、障害者や高齢者など、誰もが生き生きと暮らせるまちづくりの推進に向けて、さらなる事業の充実を図る必要がある。</p>																	
平成29年度 新規・拡充 事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="331 850 943 890">事業名</th> <th data-bbox="949 850 2049 890">新規・拡充</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="331 890 943 930">高齢者保健福祉計画策定調査費</td> <td data-bbox="949 890 2049 930">新規</td> </tr> <tr> <td data-bbox="331 930 943 986">音訳ボランティア・要約筆記ボランティア養成事業補助金</td> <td data-bbox="949 930 2049 986">新規</td> </tr> <tr> <td data-bbox="331 986 943 1026">認知症総合センター整備推進事業費</td> <td data-bbox="949 986 2049 1026">新規</td> </tr> <tr> <td data-bbox="331 1026 943 1066">歯科健診費</td> <td data-bbox="949 1026 2049 1066">新規</td> </tr> <tr> <td data-bbox="331 1066 943 1106">福祉医療費支給費</td> <td data-bbox="949 1066 2049 1106">拡充</td> </tr> <tr> <td data-bbox="331 1106 943 1145">重度心身障害老人健康管理費</td> <td data-bbox="949 1106 2049 1145">拡充</td> </tr> <tr> <td data-bbox="331 1145 943 1185">人間ドック受診補助金</td> <td data-bbox="949 1145 2049 1185">拡充</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	新規・拡充	高齢者保健福祉計画策定調査費	新規	音訳ボランティア・要約筆記ボランティア養成事業補助金	新規	認知症総合センター整備推進事業費	新規	歯科健診費	新規	福祉医療費支給費	拡充	重度心身障害老人健康管理費	拡充	人間ドック受診補助金	拡充
	事業名	新規・拡充																
	高齢者保健福祉計画策定調査費	新規																
	音訳ボランティア・要約筆記ボランティア養成事業補助金	新規																
	認知症総合センター整備推進事業費	新規																
	歯科健診費	新規																
	福祉医療費支給費	拡充																
	重度心身障害老人健康管理費	拡充																
人間ドック受診補助金	拡充																	

<具体的施策>

④多世代交流促進事業								
目標	地域コミュニティが希薄化するなか、世代間の交流が少なくなっている。多世代交流により、地域コミュニティの活性化や高齢者の生きがいの創出、若い世代への良き伝統の継承につなげ、宇治への愛着の醸成とふるさと宇治の創生を図る。							
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
	市民の地域行事への参加割合	24.9% (H25年度)	—	—				30% (H31年度)
※平成29年度 アンケート調査実施（市民の地域行事への参加割合等を把握）								
平成28年度 主な事業	事業名		事業結果					
	高齢者アカデミーの実施（再掲）		（2）－③掲載					
評価・課題	高齢者アカデミーの対象者年齢を満70歳以上から65歳以上へと引き下げたことで、より幅広く受講者を募ることができ、高齢者の交流機会の創出と生きがいづくりの促進を図ることができた。今後は、京都文教大学・京都文教短期大学と連携し、受講者の申し込み状況の把握、分析に努め、効果的な運営手法について検討するとともに、多世代が交流できる新たな仕組みについても研究・検討する必要がある。							

